

中小企業経営力強化支援ファンド（令和2年度補正予算）
「ジャパン・サーチファンド・プラットフォーム投資事業有限責任組合」
に出資を行う組合契約を締結
【サーチファンド型ファンド】

独立行政法人中小企業基盤整備機構（略称：中小機構 所在地：東京都港区 理事長：豊永 厚志）は、サーチファンド型ファンドへの出資提案に係る公募を行い、審査を経て、「ジャパン・サーチファンド・プラットフォーム投資事業有限責任組合」に対し10億円の出資決定を行い、組合契約を締結しました。

当該組合は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受けつつも経営改善の余地がある中小企業について、その経営者を志す優秀な個人（サーチャー）の発掘・支援を通じた事業の承継や再編・再構築、経営基盤の強化や事業の立て直しに取り組み、地域経済の活性化を目指す新たな形態のバイアウトファンドです。

中小機構では、引き続き、ファンドへの出資を通じて国内中小企業の事業承継、事業再編・再構築を支援することにより、日本経済の活性化に貢献していきます。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構(中小機構)>

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小・小規模事業者・ベンチャー企業のイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

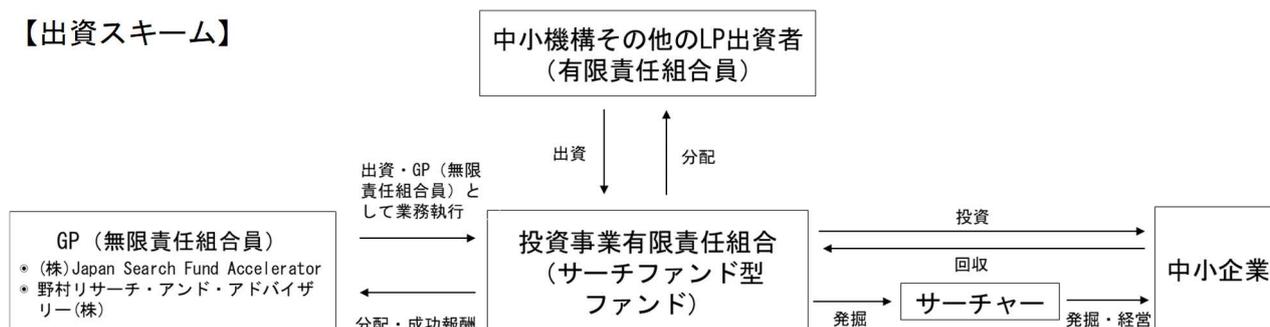
<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：浜野、小串）
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37 森ビル
電話：03-5470-1570（ダイヤルイン）

■サーチファンド型ファンドの概要

サーチファンド型ファンドは、サーチャーが自ら承継する企業を発掘し、ファンドからの投資を受けて、当該企業において経営者となり企業価値向上を図る、新たな事業承継モデルのファンドです。

【出資スキーム】



■「ジャパン・サーチファンド・プラットフォーム投資事業有限責任組合」の概要

- 「ジャパン・サーチファンド・プラットフォーム投資事業有限責任組合」は、株式会社 Japan Search Fund Accelerator (東京都中央区／代表取締役社長 嶋津 紀子) 並びに野村リサーチ・アンド・アドバイザー株式会社 (東京都千代田区／代表取締役社長 茂木 豊) が共同で運営するサーチファンド型ファンドです。
- 当該組合は、株式会社 Japan Search Fund Accelerator のサーチファンドへの投資実績や経験、並びに野村リサーチ・アンド・アドバイザー株式会社のネットワーク等も活用しながら、事業承継に課題を抱える中小企業についてサーチャーが経営者となる第三者承継の実現に取り組み、持続可能な事業承継プラットフォームとなることを目指しています。

■中小企業経営力強化支援ファンドの概要

なお、中小機構では、新型コロナウイルス感染症の影響による経営環境の悪化を背景とし、事業の承継や事業の再編、再構築を通じて、経営基盤の強化や事業の立て直しに取り組む中小企業者に対して投資を行うファンド「中小企業経営力強化支援ファンド」に対し、有限責任組員として出資を行っています。中小企業経営力強化支援ファンド出資事業は令和 2・3 年度補正予算に基づき実施しています。詳細やこれまでの実績については、以下の当機構ホームページをご覧ください。

<https://www.smrj.go.jp/sme/funding/fund/favgos000000m88e.html>

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_04.pdf